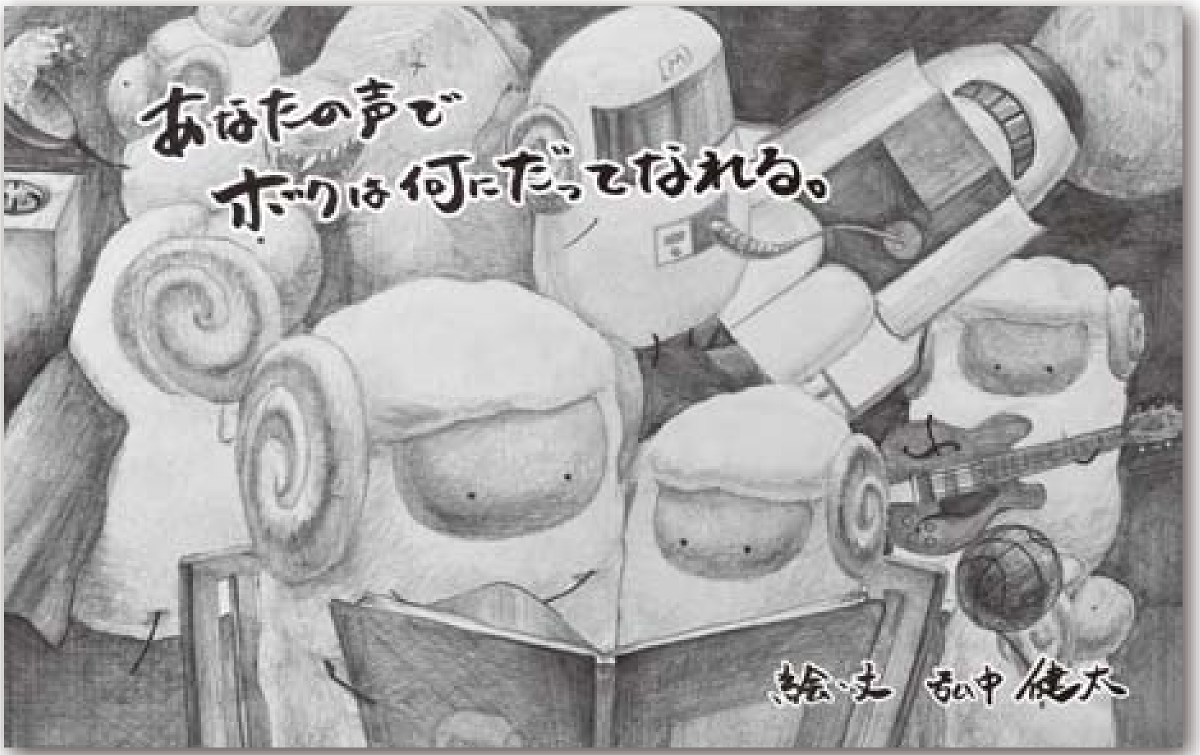
絵本
フォーラム
子育て支援
ネットワーク

2022年11月10日　第145号
2003年4月25日登録商標第4665413号〔購読料〕1ヶ年2,070円（年6回奇数月10日発行・郵送料込み）

発行所　NPO法人「絵本で子育て」センター
芦屋 〒659-0067　芦屋市茶屋之町2-21-405
TEL 0797-38-7516 FAX 0797-38-7939
https://www.ehondekosodate.com/　E-mail info@ehondekosodate.com
郵便振替口座 00900-9-191667

ⒸNPO法人「絵本で子育て」センター 2022


あなたの声でボクは何にだってなれる。
絵・文 吉中 健太

子ども歳時記

自分探し

たさき　きょうこ

風がどんどん冷たくなって、本格的な冬の季節です。今年も残り少なくなりました。みなさまにとって、この1年はどんな年だったでしょうか。

さて、わたしの息子の話をさせていただきます。息子は今大学1年生です。中学校と高校では、ずっと野球部でした。小さい時はとても手のかかる子でしたので、厳しい野球部でやっていけるのかと、最初はとても心配していました。ところが部活の先生と仲間に恵まれて、息子は変わっていきました。頼りなかった子どもが、身体も心も伸びていく様子は、驚きを感じるほどでした。高校でも野球部に入り、そこでは楽しいことよりも厳しいことの方が多かったようですが、なんとか最後まで続けることができました。

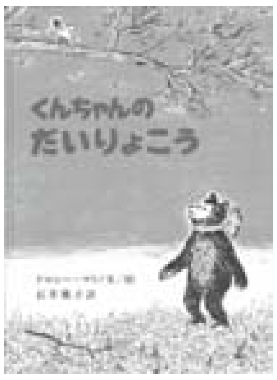
高3の夏に部活を引退して、進路に向けて忙しくしていた冬の初めのこと、息子がこんなことを言いました。

「自分って何者なんだろう」

今まで中学・高校と野球しかしてこなかったので、自分というものを深く考えたことがなかったのでしょう。初めて落ち着いて考える時間を持ち、自分を見つめ直したようです。「例えば歌がうまくて歌手になる人とか、好きなことを仕事にできる人って、本当にすごいと思う。おれには何もない」

自分は一体何者なんだろう。何が好きで何をしたら幸せなんだろう。何ができるんだろう。息子はそんなことを考えているようでした。

『くんちゃんのだいりょこう』は、子ぐまのくんちゃんシリーズの中の1冊です。くんちゃんと、おとうさん、おかあさんとのあたたかな日常を描いた絵本で、どのお話も、くんちゃんを見守る両親のおだやかなまなざしが、とても印象に残ります。『くんちゃんのだいりょこう』は、そろそろ冬ごもりをする時季のお話です。みなみのくにへとんでいくとりを見て、くんちゃんもみなみのくにへ行ってみたくなりました。おとうさんとおかあさんは、そんなくんちゃんに反対せず、やりたいようにやらせてみることにするのです。


『くんちゃんのだいりょこう』
（ドロシー・マリノ／文・絵、
石井桃子／訳、岩波書店）

わたしはくんちゃんの絵本を読むたびに、同じ母親として、くんちゃんのおかあさんにいつも感心させられます。こんなふうに子どもを信じて、そっと見守る母親は、わたしの憧れであり理想なのです。

大学生になった息子は、いつの日か世界中に、自分探しの旅に出るのが夢だそうです。旅行記の本を読んでいる息子の背中を見ながら、わたしはくんちゃんのおかあさんのことを思い出していました。くんちゃんのおかあさんのように、静かに子どもを見守ることができるだろうか……。

「いつか自分がみつかるといいね」

わたしは心の中で、そっと息子に声をかけました。

（たさき・きょうこ）

“たましい”をゆさぶる子どもの本の世界 134

飫肥　糺（批評家・エッセイスト）

バーニンガムが、人間一生の冷徹な理をふうわりと描いた『おじいちゃん』

少子化は加速する。2021年に誕生した日本の子どもは前年から5万人も減って81万1604人、統計資料のある1899年以降でもっとも少ない出生数だ。簡易生命表によると平均寿命は長寿社会をほこるわが国にあって男子81・47歳、女子87・57歳と推計される。これからの永い人生を、かれらはどのように生きぬいてゆくのだろうか。平均寿命は0歳児の生存年数の推計だが、簡易推計表はある年齢の人がこの後何年生きられるかという平均余命も推計する。

ぼくの場合、首を傾げるのだが10年もまだ生きるという。実際、喜寿を超えて寄る年波を感じる最近である。加齢の波は容赦ない。目、耳、足、腰とそれぞれの能力を削ぐ。もちろん記憶力もあやしい。好奇心だけは持ちつづけたいがどうなるやらである。

もうすっかり爺（じじい）なのだ。で、爺は早朝散歩と新聞切り抜き作業をこなし読書やなにやら綴ったりするうちに一日はあっけなく終える。かつていっしょによく遊んだ孫は成人して頻繁にはやってこない。たまに訪ねてくるととりとめもないことばを交わすだけ。ただそれだけで気分は無条件にはずむのだから不思議なかかわりではある。孫との交流はなによりの妙薬だ。

英国の世界的な絵本作家ジョン・バーニンガム。ぼくも何度か食事をともにしてその磊落で人懐っこい人柄を知るが、残念だが3年前に83歳で故人となった。47歳時、彼は爺を主人公とする絵本『おじいちゃん』を発表する。祖父と孫娘がゆたかに関わりをつづけるなかでおじいちゃんのからだがしだいに衰えて亡くなるまでを印象深く描ききった傑出の絵本だ。

描かれるのはおじいちゃんと孫娘のふたりだけの世界。さえぎるものが何一つないこころの通いあうふたりはときに独り言のようにそれぞれ思うままにつぶやく。そんな短いことばの交換はじわじわと心にしみてくる。たとえば、ふたりで温室に入って植栽を楽しむ場面の会話……。鉢植えを世話するおじいちゃんは、「これがみんなそだったら、ここにははいりきらんなあ」といい、孫娘は、「むしもてんごくにいくの」という。なんだかちぐはぐで、会話は一見ぎこちない。けれど、描かれるふたりは思いのままにことばを発しあっても何も不都合を感じない。おだやかな安心できるふたりの世界がそこに存在している。ぼくと孫たちとの会話もにたりよったりでたわいのない会話で多くは終始する。さして変わりない。

この絵本には頁をめくるたびに光景や情景が変わるという特徴がある。室内遊びや戸外遊び、海浜や雪中での楽しい遊びなどが描かれるがときには小さないさかいも描かれる。どの場面も頁をめくると年月をたどるように異なる場面に一変するのである。孫娘とともに生きるおじいちゃんの後半生をアルバムの写真のように年月を追って断片的に配置する。

ぼくもときおり、孫たちと遊んだ古い写真の整理をする。一枚の写真にはそれなりに回想させる思い出がある。あれやこれやの思いがめぐりだすと時間を浪費するばかりでうまく整理できない。

『おじいちゃん』も、めくるたびに内に流れる脈々とした時間があり、物語があるのだと思う。バーニンガムは、〝人間はだれしも生を受けて生の絶えるまでをせいいっぱい生きぬく〟という一生涯の冷徹な理を描こうとしたのではなかったか。

物語は終盤、おじいちゃんのいなくなった椅子を呆然と見つめる孫娘を描く。死ぬとはこういうことかとことばにならないさびしさ哀しさを強く醸し出す。そして最終頁には新しい兄弟を得たのか、赤子を乗せた乳母車を押して駆ける少女の快活な姿がまぶしく映る。この場面も印象に残る。

物語はバーニンガムと自身の祖父との関わり、自身の父と娘の関わりを回想しながら創作した作品だという。描かれるふたりが曾祖父と孫娘に見えてくる一因だろうか。

（おび・ただす）

『おじいちゃん』
ジョン・バーニンガム／さく
たにかわしゅんたろう／やく
ほるぷ出版

ジェリー・マーティン 英訳
えいごのじかん3 全6巻
分売可：各巻定価 1,980 円（税込）
英語の読み聞かせに最適なバイリンガル絵本！
ネイティブスピーカーによる英文朗読ダウンロードサービス付き！
Mr.Sheep's Bread　ひつじぱん
Dad Papa Pop　おとうさん・パパ・おとうちゃん
The Dentist　はいしゃさん
Kitty Cat Restaurant　ねこの レストラン
Doctor Orangutan　もりの ドクター ウータンせんせい
Shopping Parade　おかいものパレード
すずき出版　〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-3-1 岩波書店アネックスビル5F
TEL:03-6272-8003　FAX:03-6272-8016

おじいちゃん
梅田俊作 梅田佳子 作・絵
定価：本体1300円（税別）
死ぬってどういうこと？
おじいちゃんが死んだ。家の中でも、家の外でも、おじいちゃんをこんなに近く強く感じるのに、もういないの？ 男の子が思い出の場所までたどりついた時、奇跡が……。大好きな人の死を男の子が受けとめ、前を向いて歩みだすまでを描いた絵本。
ポプラ社
〒102-8519　東京都千代田区麹町4-2-6
住友不動産麹町ファーストビル8・9階
TEL：03-5877-8101（代表）

子どもも大人も名作を読もう
きつねの窓
安房直子・作　いもとようこ・絵
定価1540円（税込）
真っ青な桔梗畑で子ギツネに会った僕は青く染めた指で作った窓を見せられる。そこには死んだ母ギツネの姿が……。不思議で切ないお話。
金の星社　〒111-0056 東京都台東区小島1-4-3
Tel.03-3861-1861 Fax.03-3861-1507

子ども英語教室「ラボ・パーティ」指導者
ラボ・テューター募集中
～絵本講師を活かせるお仕事です～
「ラボ・テューター」は…
・絵本の楽しさ・豊かさを子どもと共有します。
・子どもと一緒に英語を楽しく学べます。
・子育て、そして「絵本講師」活動との両立も可能。
※英語の資格保有等の応募条件はありません。
オンライン説明会を随時行っております。お気軽にご参加ください。
⬅資料請求・説明会参加希望はこちらから
オンライン説明会スケジュールはこちら➡

ももんちゃん最新刊！
くわしい紹介はこちらのQRコードから▼
ないしょないしょのももんちゃん
とよたかずひこ●さく・え
言葉を伝える時のまっすぐな気持ちと、ないしょ話をきいている時のわくわくしてくすぐったい気持ちが伝わってくる一冊。0・1歳から
定価 990 円（税込）21×18.7cm／24ページ
童心社　〒112-0011　東京都文京区千石 4-6-6
TEL.03-5976-4181 FAX.03-5978-1078

ⒸNPO法人絵本で子育てセンター